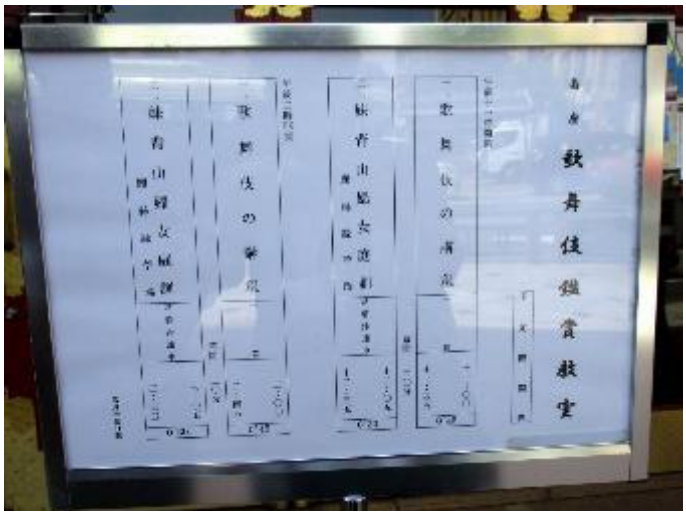
江戸時代にタイムスリップ科

京 都 ・ 南 座 歌 舞 伎 鑑 賞 教 室

広報：1班担当

２０２３年５月１７日

江戸時代にタイムスリップ科の京都・南座歌舞伎鑑賞教室が５月１７日(水)開催されました。朝８時５０分に豊中駅を出て一路、阪急河原町に向かいました。そこから南座に向かい歩きました。南座の外見をカメラに収めて岸本ＣＡに出席の確認してもらい、受付が始まり４扉から入り室内の様子をカメラに収めました。教室は二部構成で行われました。一部は歌舞伎の講釈を頂きました。解説は旭堂南龍さんが行いましたが、川島先生の２回の講義のお浚いで、分かり易く４５分があっという間の解説でした。二部は常磐津に乗せて始まり「妹背山婦女庭訓（いもせやまおんなていきん)「願絲縁苧環（ねがいのいとえにしのおだまき)」でお三輪を上村吉太朗、橘姫を片岡りき彌、烏帽子折求女（実は藤原淡海）を片岡千次郎。「大化の改新」の頃、藤原鎌足の蘇我入鹿討伐をベースにした作品「妹背山婦女庭訓」の四段目の前半部分です。入鹿の妹橘姫を追って烏帽子折の求女(本当は鎌足の息子淡海)がやって求めます。お互いの素性を知らぬまま恋仲になった二人が逢瀬を楽しんでいる所に、求女を恋慕う杉酒屋の娘お三輪が登場し二人の間に割って入ります。一人の男性をめぐって二人の対照的な女性が見せる恋模様を仕草と表情だけで伝えます。若手が演じています。５ 月２４日の落語の授業のあと池田ミュジアム見学と落語１席が楽しみです。



南座の歌舞伎鑑賞教室

① 歌舞伎鑑賞教室の案内

② 南座の外観

③ 時間割

館 内 の 様 子 ①

館 内 の 様 子 ②

館 内 の 乍 憚 口 上 (南 座)

館 内 に 飾 ら れ て い る
勘 亭 流 の 文 字

以上